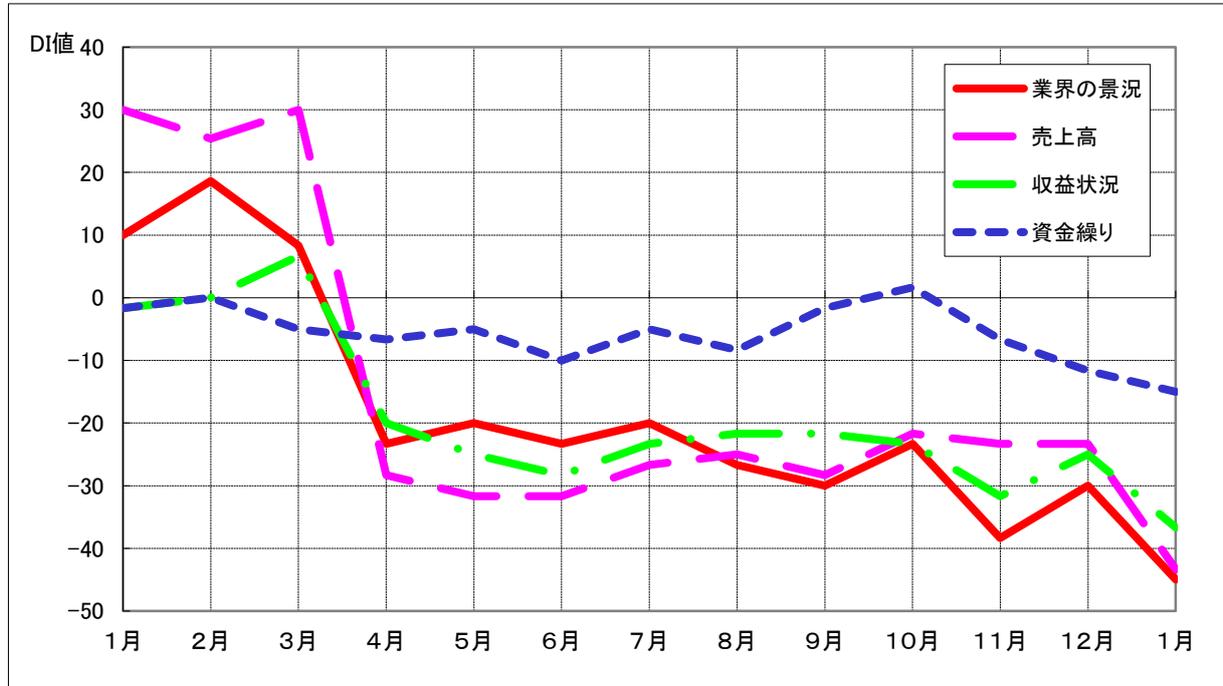


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成26年1月～平成27年1月

単位:ポイント



	H26												H27
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
業界の景況	10.0	18.6	8.3	-23.3	-20.0	-23.3	-20.0	-26.7	-30.0	-23.3	-38.3	-30.0	-45.0
売上高	30.0	25.4	30.0	-28.3	-31.7	-31.7	-26.7	-25.0	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-43.3
収益状況	-1.7	0.0	6.7	-20.0	-25.0	-28.3	-23.3	-21.7	-21.7	-23.3	-31.7	-25.0	-36.7
資金繰り	-1.7	0.0	-5.0	-6.7	-5.0	-10.0	-5.0	-8.3	-1.7	1.7	-6.7	-11.7	-15.0

○1月のDI値は前月と比べ、全項目が悪化した。「業界の景況」DI値は15ポイント、「売上高」DI値は20ポイント、「収益状況」DI値は11.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化した。前年同月と比べると、こちらも全ての項目が悪化した。「業界の景況」DI値は55ポイント、「売上高」DI値は73.3ポイント、「収益状況」DI値は35ポイント、「資金繰り」DI値は13.3ポイント悪化した。

1月は前月比・前年同月比ともに上記全項目が悪化した。連絡員からは、冬だということもあるが、加工量・見積ともに減少しているといった季節的な要因を指摘する報告が寄せられたほか、建設業を中心に消費税増税前の駆け込みの影響がまだ続いているとの報告等も寄せられた。また、先行きについてもはっきりとした目処がなかなか立たない等の報告があり、今後の推移に留意する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、建具製造業から、住宅関連は新潟の宿命で1月は動きが鈍く、商業施設も例年この時期の動きは少ないとの報告が、ハウスウェア製造業からは、業界全体としては低調で横ばい状況だが、ステンレス金属加工技術を活かした部品製造は、県外からの受注を取り込み堅調に推移しているとの報告が出ている。非製造業では、スポーツ用品小売業から、1月はスポーツ業界もオフシーズンで大きな変動はなかったが、円安等の影響でメーカーから仕入価格の値上げ報告がきており、懸念材料となっているとの報告が、建築設計業からは、増額変更契約があったものの、前年比で受注件数および受注金額ともに大幅な減少との報告が出ている。